

南仏治安情報（8月分）

（1）テロ、反社会的活動、大規模デモ（邦人被害なし）

（ア）アヴィニョン発生、反核団体（と見られる）による脅迫事件

6日、ヴォクリューズ県庁に対し、「核による専制の犠牲者に連帯して高圧線鉄塔を解体する」と書かれた脅迫状が、高圧電線の鉄塔に使用されていると見られるボルトと共に送られてきた。

（イ）コルシカ島発生、爆破未遂事件

11日朝、島南部にある **Zonza** 競馬場の発券場の開店数時間前に爆破装置が発見され、駆け付けた憲兵隊がこれを無力化した。誰が何のためにこの装置を設置したのかは捜査中である。

（2）殺人（邦人被害なし）

（ア）マルセイユ発生、サン・シャルル駅付近での殺人事件

9日夜、友人を迎えにサン・シャルル駅に向かっていた若者が何者かにナイフで刺殺された。事件発生当時は40歳代の精神障害者が犯人であるとされてきたが、後に犯人が別の者である可能性が高まった。

（イ）マルセイユ発生、薬物絡みと見られる殺人事件

19日夕方、16区レスタックにおいて、バイクに乗った2名に追いかけて回され車で逃走していた20歳代の男性が、9mm口径の銃で射殺された。警察は薬物取引絡みの殺人の可能性があると見て捜査中。

（ウ）BDR県マリニャーヌ市発生、強盗犯による殺人事件

22日午後、男2名によるタバコ店での散弾銃所持強盗事件が発生した。犯行後、現場にいた老男性が犯人の持っていた銃を取り上げようとしてもみ合いとなり、犯人に発砲され殺害された。逮捕された1名はその日成人（18歳）となった若者であった。

（エ）ヴォクリューズ県 **L'Isle-Sur-La-Sorgue** 発生、殺人及び放火事件

22日の朝、道路脇で燃やされた乗用車が発見された。車内には2体の遺体があったことから警察が殺人事件として捜査を開始し、即日犯人3名を逮捕した。

（3）強盗（邦人被害なし）

（ア）マルセイユ発生、銃使用によるカージャック事件

2日未明、15区 **La Calade** にある道路 **Traverse Santi** を走行中の被害者が、待ち伏せしていた男にポンプ式長銃を突きつけられ停車し、車を奪われた。

- (イ) マルセイユ市発生、寿司レストランにおける強盗事件
2日深夜、6区パラディ通りの寿司レストラン（日本人経営に非ず）に武装した2人組の強盗が押し入り、売上金等を奪ってスクーターで逃走した。
- (ウ) トゥールーズ発生、ファストフード店での強盗・監禁事件
5日未明、Agde 通りのファストフード店"Quick"の閉店時間に3人組が押し入り、従業員に催涙ガスを噴射した。その後犯人は店舗内に留まって金庫の在処を聞き出し、1万ユーロを奪って逃走した。同様の犯行は、6月23日にミライユ地区の"Quick"でも発生している。
- (エ) ラ・シオタ発生、アパート居住者に対する強盗・監禁事件
6日夕方、顔を隠した2人組が Cite des Abeilles のアパート一室に押し入り、居住していた一家2名を監禁して金庫を強奪した。後に警察が既に放火された犯人使用車両を発見したが、車内に残っていた金庫は切断され、中身は空であった。
- (オ) マルセイユ発生、閉店間際を狙ったレストラン強盗事件
9日深夜、8区エスカル・ボレリーにあるレストランの閉店間際に武装強盗が押し入り、同店マネージャーを銃床で殴打して5,000ユーロを強奪した。
- (カ) ヴォクリューズ県 L'Isle-sur-la-Sorgue 発生、商業センター敷地内での銃撃戦を伴う強盗未遂事件
10日昼過ぎ、大流通店舗の売り上げを納めた現金輸送車が商業センターを出ようとしたところ、1台の車両が進路を塞ぎ、出火した。現金輸送車の警備員が発砲したところ別の車が現れ銃撃戦となった。最終的に襲撃に失敗した犯人グループは2台の車で逃走した。警備員側に外傷はなかったが、犯人側1名は負傷した模様である。
- (キ) ニース発生、高級ホテルのテナントを狙った強盗事件
16日午前中、プロムナード・デ・ザングレにある5星ホテル"Palais de la Mediterranee"に帽子で顔を隠した2人組が押し入り、自動小銃で従業員を脅しながらショーウィンドーを割り、高級腕時計2個を奪ってバイクで逃走した。
- (ク) マルセイユ発生、けん銃使用の強盗事件
17日朝、15区 chemin de La Madrague-Ville のスーパー"DIA"に男1名が押し入り、けん銃で店員を脅して1,500ユーロを奪取し逃走した。
- (ケ) トゥールーズ発生、男1名による銀行強盗事件
22日午前中、Pont des demoiselles 地区の"Banque Courtois"にて、口座開設を装った男が銀行員を脅して現金を要求し、行員が用意した現金を

持って徒歩にて逃走した。幸い怪我人は出なかった。

(コ) マルセイユ、タバコ店を狙った強盗事件の頻発

24日朝、16区 Rabelais 通りにあるタバコ店に自動小銃を持った覆面の男3名が現れ、店の女性を脅して売上金とタバコを奪って車で逃走した。逃走に使った車両は現場から少し離れた地点に遺留されていた。

タバコ店を狙った強盗はこの他にもマルセイユ周辺で頻繁に発生している。

(サ) エクサンプロヴァンス発生、ディスコ強盗事件

25日早朝、route de Celony にあるディスコ"Le Studio"に男3名が押し入り、9mm口径の銃で店長の脚を撃ち抜き、店の売り上げ5,000ユーロを奪って逃走した。犯行当時店内にはまだ客が大勢いたことから、現場は騒然となった。

(シ) マルセイユ発生、映画館チケット売り場での強盗事件

25日夕方、6区プラド通りにある映画館のチケット売り場にて、男1名が催涙ガスを使って店員を襲い数百ユーロを奪って徒歩にて逃走した。

(4) 性犯罪

把握なし

(5) 誘拐・立て籠もり

把握なし

(6) 傷害（邦人被害なし）

(ア) マルセイユ発生、銃使用の重傷傷害事件

8日白昼、15区 Saint-Antoine 付近にあるバーの店内において、男性が男2名に銃で撃たれて重傷を負った。被害者は警察にマークされている人物であり、薬物取引上の金銭トラブルが原因と見られている。

(イ) トゥールーズ発生、怨恨絡みの傷害事件

9日午後、Izards 地区のメトロ Trois Cocus 駅付近で男性が複数の者から危害を加えられ、頭頂部をナタのような物で切りつけられる被害を負った。被害者男性が妻に復讐をしに向かったところ、途中で振り返りに遭った可能性があるとして警察が捜査中である。

(ウ) マルセイユ発生、自動小銃使用の重傷傷害事件

15日深夜、14区 Arnavaux 地区の食料品店外で、同店経営者ともう1名が9mm自動小銃で撃たれ重傷を負い、病院へ運ばれた。被害者2

名の犯歴は軽罪のみであり、警察は薬物以外のトラブル、あるいは流しの犯行と見て捜査中。

(エ) マルセイユ発生、刃物使用の傷害事件

18日早朝、1区旧港地区にあるナイトクラブ出入口でケンカが始まり、男3名が男性1名の胸をナイフで刺して怪我を負わせた。

(オ) Le Carnnet 発生、銃使用による傷害事件

27日深夜、顔を覆った男2名が閉店直後のバーに乱入し、男性オーナーに向けて銃を3発撃った。

(カ) マルセイユ市発生、バス運転手に対する傷害事件

28日午後、14区 Saint-Barthelemy を走行中のバス運転手女性が、優先レーンを譲らなかった車両の運転手と口論となり、車両助手席にいた男に顔面を殴られた。男は逮捕されたが夜には釈放された。

(キ) エロー県 Fabregues 市発生、銃使用の傷害事件

28日午後、路上において、付近に住む男性が何者かに銃で撃たれた。目撃者はおらず、警察が犯行動機を含め捜査中。

(7) 薬物関連 (邦人関与なし)

マルセイユ、麻薬取引現場の取り締まり

8日、9区のシテ La Cayolle において、警察が麻薬取引の現場を押さえ、8名を逮捕した。

(8) 特異窃盗 (邦人特異被害 1件)

(ア) マルセイユ、ひったくり事件の頻発と第三者による犯人逮捕事案の増加

マルセイユ市内では大通り等で一日平均3~4件の貴金属製首飾りを狙ったひったくりが発生している。そんな中、最近は第三者が被害者に加勢して犯人を捕まえようとする現象も増加している。

(イ) マルセイユ発生、観光客を狙ったひったくり事件

7日午後、市内中心街において、中国人旅行者がドアロックせずに車を運転していたところ、信号待ちの間にバイク乗車の者にドアを開けられ車内のハンドバッグ等を奪われた。

(ウ) カンヌ発生、ホテル個室の金庫を狙った窃盗事件

6日午後、ホテル室内の小型金庫が破壊され、中の現金を盗まれる事件が発生した。同じ日、市内の別のホテルでも室内から現金等を盗まれる事件が発生している。

(エ) BDR県 Bouc-Bel-Air 発生、爆破物使用の窃盗未遂事件

28日未明、2台の車に乗ってきた男4名が、銀行のATMコーナー入口に爆破物を仕掛けて爆発させた。この爆破により銀行店舗、犯人らの乗り付けた車両2台が燃えた。

(オ) マルセイユ発生、レンタカー移動中の邦人旅行者に対するひったくり事件

27日午後、中心街をレンタカーで観光中の邦人が、滞在していたホテル前で2人組の男に助けを求められ、何事かと思い車外に出て事情を聞いているうちに、別の者に車内の貴重品を奪われた。

(9) その他特異事件（邦人被害なし）

(ア) ツールーズ発生、緊急走行中の救急隊員に対する公務執行妨害事件

3日、ミライユ地区路上で転倒した老女を搬送すべく救急車が現場に向かったところ、複数の若者に襲われ、頭などを殴られて2名が病院へ運ばれた。救急車も投石によりフロントガラスが破損した。

(イ) マルセイユ発生、法廷侮辱罪及び暴行事件

5日、軽罪裁判所にて麻薬関連の裁判中、裁判を傍聴していた被告人の弟らが裁判長を罵倒し、法廷侮辱罪にて警察官に連行されるも同人らが警官に抵抗し格闘となった。

(ウ) マルセイユ発生、入院患者による病院関係者脅迫事件

8月中旬に銃撃により負傷し、マルセイユの市立病院に搬送されて入院した男が、敵対勢力に追撃されるという強迫観念の下、仲間の持ってきたけん銃で医師・看護婦を脅し、病棟からの出入りを禁じていたことが明らかとなった。関係者らは報復を恐れて被害届を出しておらず、病院・警察も本件を把握しても何の手立ても取らなかった。最終的に警察に通報された男は「退院」して行ったが、銃が見つからなかったことから拘束はされなかった。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報を基にまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。